

バグダッド日誌(12月26日)

○ 戦場のメリークリスマス！

- ・ そろそろ、クリスマスが近づいてきたある日、チーフのA少佐(米軍)が、「クリスマスもあるし、自分の部隊に行くのは構わないから、というより、サマワに行ったほうがいいんじゃないか？」と大変、ありがたい話をもってきてくれた。
- ・ しかし、LO班の限られた勢力と、最近のヘリの運航状況が厳しいところから「少佐、大変ありがたいのですが、多分行けないと思います。」と返答した。少佐は「エストニアのR大尉は、1週間タジ(バグダッド北部)の部隊に行ってるんだゾ。多分遊んで、リラックスしてくるよ。」などと言う。確かに米軍はクリスマスムードもあり、キャンプ内にも飾りつけが目立ってきている。私も、戦場のメリークリスマス...となぜかビートたけしを思いだしながら「そうなんですか...。」と言葉を交わした。
- ・ さて、数日後R大尉が帰ってきた。「リラックスしてきた？」と声をかけると、彼はこう言った。「戦死した兵士の追悼をしてきたんだ。ほとんどの兵士は泣いたよ...。」
- ・ エストニア陸軍は派遣以来、2名の兵士を失っている。R大尉のデスクの前にも、その兵士の写真が貼ってあることを思い出した。クリスマスと現実が交差した一瞬だった....

○ 日本人を知らないの？！

- ・ 少し前の話になるが、いつものように他国のLO数名と昼食をとっていた。そろそろ食事も終わり、席を立ちかけた。すると、米軍(少佐)が「ヤア！ヤア！皆さん！」という感じで、我々のいるテーブルに座った。
- ・ (誰の知り合いかな?)と置いていたら(後で聞くとLO全員が同じことを思っていた。)、一人一人に話しかけ始めた。「あなたは、〇〇国人ですね。〇〇国と言えば、××が有名ですね？」とか、「あなたは、△△国からこられたのですか？△△国は、～国も使いますよね？」等々、各国の特徴的なことを質問しながら、一人で話して一人で盛り上がりつつある。何となく(羨まカンジ...)という雰囲気を感じ始めた。既に帰国したが、ブルガリアLO(中佐)が「色々な国のことに詳しいね？」とややしらけた感じでお愛想を言った。
- ・ 次に彼が話しかけたのは、私だった。「あなたはどこの国の人？」(重なる質問と思いつつ)「日本人だよ」と答えようとしたら、LO達が声をそろえて「彼は日本人だよ！」と答えてくれた。カザフスタンLO(空佐)は、「米軍にも、日本人を知らない奴がいるのか？」と少し怒ったように言う。当の米軍人は、「まだ、ここに来たばかりで...。」と言訳のように言っていた。
- ・ さっきほめたブルガリアLOが「行くぞ！」と言ったのを合図にみんな席を立った。米軍人は「TOKYOは...」と何か言い始めたが、みんな無視するように歩いていった。私も、とりあえず、みんなについて行った。
- ・ 食堂を出ると、他国のLO達が「米軍のくせに、日本の国旗を知らないなんて、あいつはチョットおかしいな？」と言ってくれたことがとてもうれしかった。

バスラLO日々業務報告(12月26日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢) :
2 特記事項	(1) (2)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J9総機統一会議 (4) 空路輸送調整
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整
5 その他(備考)	